

学会主要記事

1) 正会員総会

1. 平成14年4月17日(水)、本学大会議室において開催され、平成13年度決算、平成14年度予算及び事業計画を承認し、平成14年度学会長、理事、監事を選出した。

2) 理事会

1. 平成14年4月25日(木)、本学学会室において開催され、学術講演会について審議した。
2. 平成14年5月15日(水)、本学学会室において開催され、論集の執筆者、論集印刷業者選定、研究会について審議した。
3. 平成14年6月12日(水)、本学学会室において開催され、レフリー制度内規改正案、執筆要領改正案、研究会について審議した。
4. 平成14年7月10日(水)、本学学会室において開催され、論集別冊、レフリー制度内規改正、論集の執筆者について審議した。
5. 平成14年9月25日(水)、本学学会室において開催され、論集別冊、学術講演会について審議した。
6. 平成14年10月23日(水)、本学学会室において開催され、論集(退職記念号)の執筆者、退職記念講演会について審議した。
7. 平成14年12月4日(水)、本学学会室において開催され、退職記念講演会、研究会について審議した。

3) 機関誌

1. 機関誌「高崎経済大学論集」第45巻第1号、2号、3号、4号、別冊「学びへのいざない」を年度内に刊行した。

高崎経済大学論集

第45巻 第1号

平成14年6月

目次

〔論文〕

現代の社会経済システムの構造（上）

- 「循環」本位の社会経済システムの提唱 武井 昭
- The Expansions of the Essays on Tourism Multiplier Model 北條 勇作
- 明治前期に於ける生糸直輸出の位置 富澤 一弘
- Evolution of Social Capital and International Business 今井 雅和
- “ What do you call your colleagues at work? ”
- A preliminary study on address forms in cross-cultural communication. 岡村 晃子
- 産業財マーケティングに関する研究アプローチの考察 福田 康典

〔書評〕

- 石井伸男著「マルクスにおけるヘーゲル問題」..... 竹内 真澄

第45巻 第2号

平成14年9月

目次

〔論文〕

横井小楠と道徳哲学

- A. スミスとの比較において 山崎 益吉
- 現代の社会経済システムの構造（中）
- 「循環」本位の社会経済システムの提唱 武井 昭
- 横浜同伸会社救済運動と星野長太郎
- 明治20 - 22年を中心に 富澤 一弘
- IT関連職業で見る企業規模と賃金 石井 久子
- 結合企業と代表訴訟（1）..... 山田 泰弘

〔書評〕

- 石川弘道 著『落語と情報学』 斎藤 弘行

〔講演抄録〕

平成14年度第1回学術講演会（講演抄録）

日本は東アジアとどう共生するか 木 下 俊 彦

平成14年度第1回特別講演会（講演抄録）

不良債権処理問題とその対応：韓国の体験 李 相 蓮

第45巻 第3号

平成14年12月

目 次

〔論 文〕

現代の社会経済システムの構造（下）

「循環」本位の社会経済システムの提唱 武 井 昭

イギリス初期綿業における蒸気力の登場と紡績工場の立地転換

技術的障壁と地域的多様性 茂 木 一 之

第1議会期に於ける生糸直輸出業者の動向（上）

水沼製糸所・星野長太郎を中心に 富 澤 一 弘

金融不況と設備投資変動に関する考察

協調の失敗の観点から 中 野 正 裕

結合企業と代表訴訟（2・完）..... 山 田 泰 弘

「信頼」空間のパーспекティブについて 勢 力 尚 雅

〔研究ノート〕

世界銀行内部におけるハーシュマン評価について 矢 野 修 一

第45巻 第4号

平成15年3月

上岡国夫教授退職記念号

目 次

上岡国夫退職記念号、学会長挨拶	山 崎 益 吉
上岡国夫教授定年退職記念号に寄せて	石 川 弘 道
上岡国夫教授 略歴および研究業績	

〔特別記念論文〕

高等学校改革の試み

～高崎経済大学附属高等学校の場合～	上 岡 国 夫
-------------------------	---------

〔論 文〕

ルソーに於ける「経済」と「人間」	飯 岡 秀 夫
東アジアの近代化と日本 和田英と『富岡日記』	山 崎 益 吉

On the Non-linear Development of the Mule Cotton Spinning Machine

and the Spinner's "skill" in the Early British Cotton Industry	茂 木 一 之
--	---------

入会権と入会慣習	中 村 忠
----------------	-------

発展的な学習をめぐる若干の考察

算数科教育を中心として	池 野 正 晴
-------------------	---------

第1議会期に於ける生糸直輸出業者の動向（下）

水沼製糸所・星野長太郎を中心に	富 澤 一 弘
-----------------------	---------

中世後期イングランドのフラタニティ	唐 澤 達 之
-------------------------	---------

ロシア語テキストにおける動詞のモダリティ機能	榎 尾 頌 子
------------------------------	---------

〔研究ノート〕

「ナチズム体制下の哲学」	藤 野 寛
--------------------	-------

「文章表現技術」の理論確立に向けて	高 松 正 毅
-------------------------	---------

〔特集 退職記念最終講義〕

「生涯学習～人はどう変わるか」	上 岡 国 夫
-----------------------	---------

〔講演抄録〕

WTO加盟と中国経済の将来	鄭 海 東
---------------------	-------

情報と安全

いかに情報化社会で安全、安心を守るか	向 殿 政 男
--------------------------	---------

〔学会記事〕

学会主要記事

4) 学術講演会は下記のとおり催行した。

1. 平成14年5月29日(水)

木下 俊彦(早稲田大学商学部・大学院商学研究科教授)

「アジアとの共生のために日本はなにをすべきか？」

2. 平成14年6月26日(水)

李 相蓮(コリア アセット マネジメント コーポレーション 長期発展企画団総括チーム長 担当部長)

「不良債権処理問題とその対応、韓国の体験」

3. 平成14年11月14日(木)

鄭 海 東(福井県立大学大学院 経済・経営学研究科教授)

「WTO加盟と中国経済の将来」

4. 平成14年12月11日(水)

向殿 政男(明治大学理工学部 情報科学科教授)

「情報と安全 情報化社会でいかにして安心、安全を守るか」

5) 研究会は下記のとおり催行した。

1. 平成14年7月3日(水)

今井 雅和(本学経済学部助教授)

「社会資本の進化と国際ビジネス」

岡村 晃子(本学経済学部助教授)

「異文化コミュニケーション

: 同僚の呼び方について、スウェーデン人・イギリス人・日本人間では」

2. 平成14年1月22日(水)

新井 圭太(本学経済学部講師)

「日本の航空産業の国際比較」

林 宰司(本学経済学部講師)

「レーヨン産業の国際移転と二硫化炭素中毒」